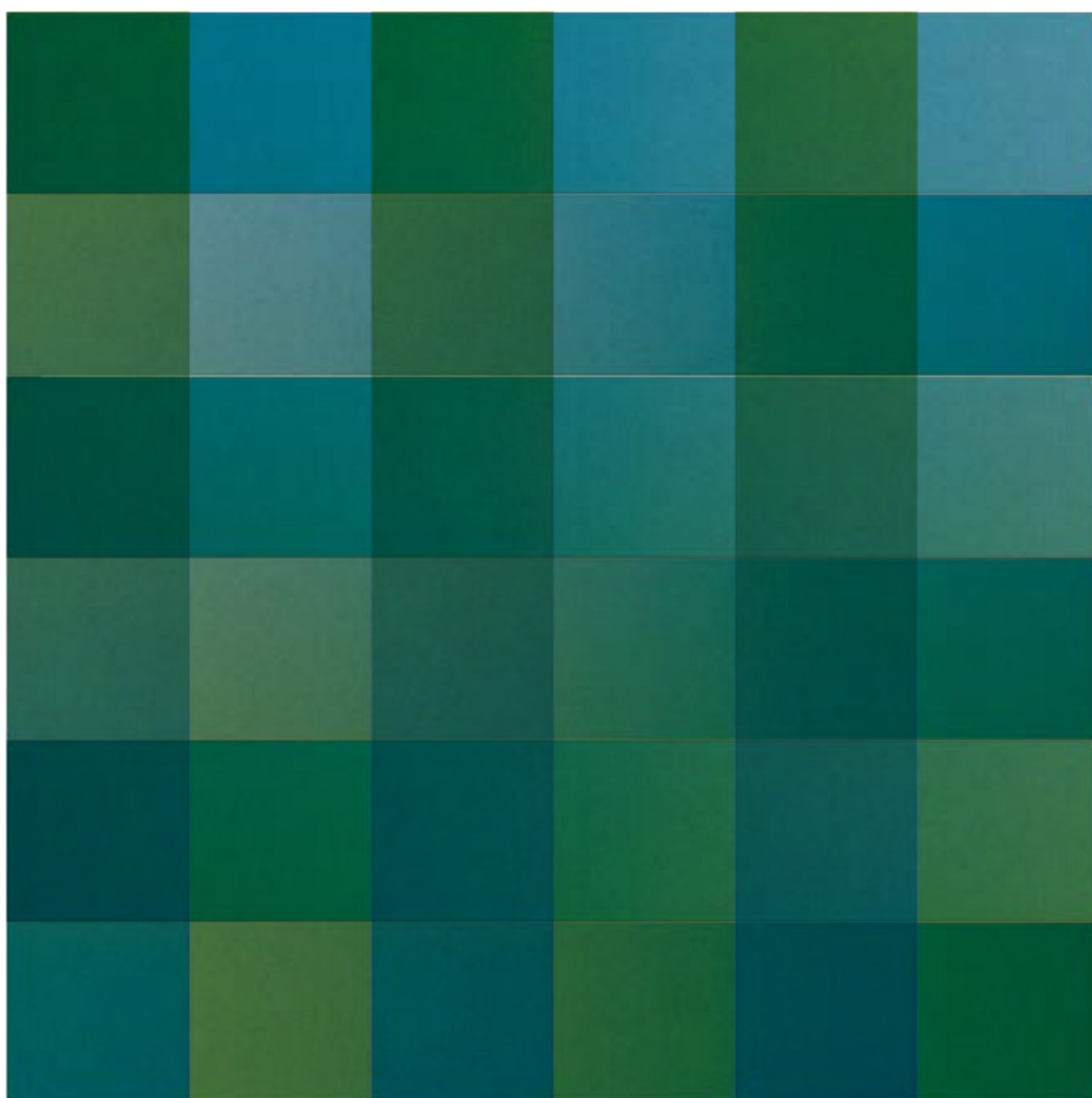


Sagamihara Incubation Center Ltd.

2024
ANNUAL
REPORT **R.06**

株式会社さがみはら産業創造センター (SIC)
令和6（2024）年度 年次報告書



企業理念

総合的なインキュベーション活動を通じて
地域経済の発展に貢献します。

Index	01	事業実績ハイライト	03
1 インキュベーション事業 (起業・成長支援事業)	05	2 政策連携(受託)事業	10
1-1 入居企業支援	06	2-1 ロボット導入支援センター事業	11
1-2 地域企業支援	07	2-2 NEDO 講座	13
1-3 さがみはら表面技術研究所	08	2-3 中小企業「カイゼン」支援	14
1-4 海外展開支援	09	2-4 人づくり支援 (サガツクナビ)	15
		2-5 DX 化促進支援	17
		2-6 カーボンニュートラル事業	18
		2-7 綾瀬コンサルティング事業	19
3 研修・セミナー事業	20	4 賃貸事業	25
3-1 セミナー (経営者セミナー /HINT/ 勉強会)	21	4-1 SIC 入居企業データ	27
3-2 職場リーダー養成塾	23	4-2 SIC-1 Startup Lab.	29
3-3 マネジメント人材育成	24	4-3 SIC-2 Creation Lab.	30
		4-4 SIC-2 R&D Lab.	31
		4-5 SIC-3 Innovation Lab.	32
		4-6 En-Garage	33
		4-7 施設その他	34



5 その他事業 35

- 5-1 インキュベーションコンサルティング 36
- 5-2 子どもアントレ・アントレチャレンジ 37

6 広報 39

- 6-1 メディア・SNS 40
- 6-2 広報誌かわらばんの発行 41

7 基本情報 42

- 7-1 財務状況・スタッフ数
- 7-2 さがみはら産業創造センター (SIC) のあゆみ
- 7-3 競争的資金の獲得
- 7-4 表彰・認定
- 7-5 役員・組織図・株主

2024
ANNUAL
REPORT **R.06**

株式会社さがみはら産業創造センター (SIC)
令和6 (2024) 年度 年次報告書

令和6年度事業実績ハイライト

令和6年度 SIC は SDGs の取組みとして、植栽維持管理サインの設置と、橋本図書館への図書寄贈を行った。これらの取組みから相模原市より SDGs の先進事例として視察依頼を受けた。ほか入居企業の活躍による表彰や視察の受入も行った。

4 April



- 17 日...植栽維持管理サインの設置
(バステルファームワーキングセンター)
- 17 日...D10 サイトリニューアル
- 20 日...創立 25 年

5 May



- PBL 題材
(講師：安藤取締役・上野部長)
電気通信大学
先端工学基礎課程夜間社会人コース

6 June



- 動物アレルギー検査㈱ 優良申告法人表彰

10 October



- 23 日...第 24 回経営者セミナー

11 November

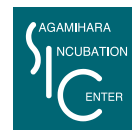


- 8 日...JBIA シンポジウム
(講師：片山課長)

12 December



- 17 日...大望年会開催



7 July

8 August

9 September



- 24 日...さがみはら SDGs パートナー
先進事例視察受入
- SIC-2 ポススマート（自動販売機）導入

- さがみはら子どもアントレプレナー
体験事業キャンプ（5 日、9-11 日）

- 24 日...黒岩知事視察（㈱ PXP 社）

1 January

2 February

3 March



- SIC-1 大規模修繕工事
（12 月 16 日～3 月 14 日）

- 28 日...大田区との情報交換・交流会

- 7 日...相模原市立橋本図書館へ
図書寄贈（154 冊）

1

インキュベーション事業 (起業・成長支援事業)

1999 年の設立以来、国内有数のビジネスインキュベータ（インキュベーション施設）として、現在インキュベーションマネージャー 8 人を有し、26 年間の支援ノウハウを活かし、起業家の創出と企業成長のため、個社の伴走支援をメインに独自の企業支援事業を創り、これまで活動を続けている。本年は、日常支援とともに競争的公的補助金の申請支援や新たな研究開発支援事業を始め、企業の育成に力を入れた。

1-1 入居企業支援

1-2 地域企業支援

1-3 さがみはら表面技術研究所

1-4 海外展開支援

1-1 入居企業支援

国内最大規模のビジネスインキュベータである SIC には、研究開発型のスタートアップやベンチャー企業等が、151 の居室とシェアオフィスに入居している。独自性の高いビジネスに取り組み、事業ステージが異なる多様な企業に対して、常駐のインキュベーションマネージャー（以下、IM）が支援ネットワークを活用しながら伴走サポートを実施する。



日常支援

日々の事業活動で直面する経営、技術、人材、資金調達などの課題を IM がサポートし、複合的な課題に対しては、優先順位を検討しながら解決の糸口を共に探す。また SIC のネットワークを活用し、外部の支援機関や外注先などの紹介、支援制度の紹介などにより、入居企業の自立した経営への伴走をする。

有償サポート

① 顧問業務

中長期的な経営課題に対して、解決策の検討や取り組み状況の共有、対応方針の見直しなど、PDCA サイクルの展開を伴走する。

② 課題解決支援

短期的な課題解決に対して、企業の主要業務を停滞させることなく IM や専門家がそれぞれに有する知見をもとに支援を実施する。

令和 6 年度の実績 入居企業相談件数（サポート回数）342 回

経営全般への助言 (顧問契約)	14 件
課題解決支援	10 件（特許出願、PR 戦略立案、中期事業計画策定 など）

令和 6 年度 支援事例（PR 戦略立案・ツール制作支援）

新サービスを開発し、新規顧客開拓活動を始めた企業から「サービスの用途が広いため、ダイレクトマーケティングで関心を示した顧客に対して効果的に PR ツールを活用したい。」との相談を受けた。SIC では、マーケティングに強いデザイン会社を紹介し、支援を開始した。“壁打ち”方式で顧客像と想定されるニーズを体系化し、複数の PR ツールを作成した。ネット上で顧客の要望に沿った提案をし、効果的・効率的なマーケティング活動が実施できるようになった。



1-2 地域企業支援

相模原市及び周辺地域に拠点を置く成長意欲の高いベンチャー企業やスタートアップ企業、中小・中堅企業に対して個別経営課題の解決支援を実施する。

令和6年度の実績(有償支援)

経営全般への助言 (顧問契約)	2件
課題解決支援	5件(中期事業計画策定、経営幹部向け社内研修、ロボット活用講演 など)

※その他相談対応:創業相談、企業立地相談、採用相談、補助金申請相談、産学連携相談など

中長期経営計画策定支援

中長期経営計画に基づき、新工場設立後の人材育成を重視した経営システムの構築・運用や新分野進出や内製化拡大を積極的に行い、売上・利益の増大を図るための経営全般の取組への支援を行った。スキルマップ作成や目標管理制度の導入など教育システムの構築した結果、品質の向上や改善が顕著に見受けられた。



経営幹部向け社内研修支援

経営幹部に対して、対面式コーチング研修支援を実施した。組織レベルでは「コミュニケーション能力の向上」や「人材育成を促すコーチング文化の醸成」など、個人レベルでは「コーチングセッションの中で個人のテーマや目標を設定」を行った。すぐに社内実践することで従業員のモチベーション向上や離職防止に寄与した。

オーダーメイド研修(ロボット)

自動化・ロボット活用に関心のある地域企業2社を対象に、それぞれの課題に合わせたオーダーメイド型の研修を企画・実施した。具体的には、「ラボラトリーオートメーション」や「ロボットビジネス&テクノロジー」と題した研修を通じて、現場の研究者や技術者が主体的に自動化を検討するための知識や考え方を習得することにつながった。

※きらぼし事業化支援プログラム:地域活性化をめざす、きらぼし銀行との連携協定に基づき実施した「研究開発支援」と「経営課題解決支援」が計4件ある。

1-3 さがみはら表面技術研究所 (平成22年～)

企業の技術的な強み・独自の魅力を発掘し、それらを活かす新規事業等の立ち上げに貢献する。公的補助金等を活用した事業活動の促進、大学・研究機関等との交流機能の整備等、企業に寄り添う丁寧な各種支援を行う。今期は、補助金支援とともに企業訪問等にて技術相談を実施した。

支援実績	件数
相談件数	82 件
技術ヒアリング	17 件
補助金申請支援・事業化フォローアップ等	15 件
技術支援・コーディネート	11 件

プリント回路基板金めっき加工の品質安定化・生産性向上のサポート

携帯電話・医療用など電子機器用プリント回路基板の金めっき加工等を行う事業者では、回路基板の精密化・微細化が進み、製品の全数検査によるめっき膜厚測定が作業工程のボトルネックとなっていたが、「神奈川県中小企業生産性向上促進事業費補助金」を活用した高性能検査装置の新規導入を支援し、製品の高品質安定化と生産性向上に繋がった。



重量物産業機械など運搬作業の効率化・働き方改革のサポート

重量物の機械設備等の運送サービスを専門に行う事業者が、10t クラスの高速プレス機械の移設・搬入作業への新規設備導入に際し、2024 年問題改善策「東京都設備投資緊急支援事業助成金」を活用した事業計画立案・設備導入の支援、加えて事業化フォローアップも行い、事業者の大幅な生産性の向上・働き方改革などに繋げることができた。



COB LED カスタム製造の新規事業推進のサポート

検査装置用の LED 照明装置の製造販売事業者が、COB LED(チップオンボード LED)を顧客ニーズに合わせカスタム製造・販売をする新規事業に対し、中小企業庁「事業再構築補助金」を活用し、設備導入後の事業化報告等のサポートも行った。



補助金等活用による事業化後のフォローアップ

これまで様々な業界において、補助金・助成金等を活用した新規事業計画立案・設備導入を支援してきたが、それらの事業完了後5年間にわたり提出する事業化報告のサポートも行っている。今年度においても、神奈川・東京・静岡・京都にある菓子製造業・歯科周辺サービス業・特殊板金製造業など多様な十数社について事業化のフォローアップを行った。



1-4 海外展開支援 (平成22年～)

広範な産業分野の企業を有し、日本とのビジネス実績の多い台湾で地域企業やスタートアップが SIC 台北ビジネスセンターのネットワークによる交流や協業を通して、日本国内市場の縮小や環境の変化を乗り越え、持続的な事業の発展・成長の機会を提供する。

支援相談：計 7 件



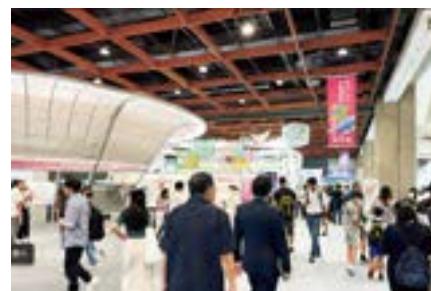
生活雑貨台湾販売開拓相談（日本企業）

EC をメインに台湾販売代理店経由での生活雑貨を販売し、新型コロナウイルスによる売上低迷期から V 字回復を目指している企業に対し、新商品や新ラインナップなど新たな商品企画に向けた現地商談サポートを実施した。来年度に向けた新商品に関する取引交渉に向け、販売促進ツールの中国語版及び英語版の制作サポートを行った。



計測器台湾販路開拓相談（日本企業）

BtoB 向け計測器を開発したスタートアップ企業が、初めての海外市場展開として台湾市場にチャレンジすることになり、台湾展示会視察を含めた市場調査をもとにマーケティング戦略策定のサポートを実施した。現地での環境関連協会との面談や日本製の計測器を取り扱う台湾代理店のコンタクト及び交渉サポートを行った。



日本国内 OEM 生産相談（台湾企業）

物流倉庫向けリフトを貿易している台湾企業が、新製品を日本国内で OEM 生産し、日本国内で販売する計画に対し、現地を訪問して製品仕様をヒアリングし、日本国内のパートナーとの交渉をサポートした。一部の製品の台湾輸出の計画もあり、今後日本国内での材料仕入先の探索サポートを行う予定である。



2

政策連携（受託）事業

これまでの 26 年間、産業支援機関として国、県、市から数々の産業政策の委託事業を請け、運営ノウハウを積み重ねている。特に企業からの業界情報と行政からの政策情報が集積している第三セクターの長所を活かし、地域に求められる産業振興事業を多くの人的ネットワークで実現している。本年も地域の自治体から重要施策である産業用ロボット導入支援、企業コンサルティング、人材採用支援など幅広い分野で受託した。

2-1 ロボット導入支援センター事業

2-2 NEDO 講座

2-3 中小企業「カイゼン」支援

2-4 人づくり支援（サガツクナビ）

2-5 DX 化促進支援

2-6 カーボンニュートラル事業

2-7 綾瀬コンサルティング事業

2-1 ロボット導入支援センター事業 (相模原市／平成27年～)

製造業やその他業種へのロボット導入を支援するとともに、ロボット産業に関連した人材や企業のさらなる集積と高度化を図りながら、相模原市内企業の生産性及び付加価値の向上を実現のために実施する。今年度は経産省のプロジェクトにおいて先進地域に選定されたことで、全国からの視察が増加した。

1. さがみはらロボット導入支援センター

自動化・ロボット導入に関する公的支援拠点である「さがみはらロボット導入支援センター」を運営した。令和6年度の年間利用者数(相談・見学者等)は472名で、平成27年9月の開設以来延べ7,908名に達した。



2. 相談・コンサルティング

自動化・ロボット導入等を検討している企業を対象とした相談・コンサルティングを実施した。年間相談件数は44件(相談企業数:33社)で、うち窓口相談が21件、出張相談(工場の自動化診断)が23件となっている。相談企業に対しては、自動化・ロボット導入を見据えた施策の立案・実施に向けて、専門家による助言・提案・情報提供を行った。また県外企業からの相談には、県や市の制度や市内企業を紹介した。

3. 研修・セミナー

自動化・ロボット活用に携わる人材の育成を目的とした研修やセミナーを実施した。



自動化・ロボット活用講座



タイアップセミナー (SUS キャラバンカー展示会)

	テーマ	参加者
1	ロボット Sler 養成講座 特別セミナー (令和 6 年 11 月 27 日)	12 社・16 名
2	ものづくり企業のための自動化・ロボット活用講座 (全 5 回、令和 6 年 10 月～12 月)	11 社・20 名
ロボット産業・ビジネス勉強会		
3	生成 AI を利用する現場データからのものづくり、ロボットシステムづくり支援 (令和 6 年 11 月 8 日)	16 社・23 名
4	米国・シリコンバレーにおけるロボット最新事情 2024-2025 (令和 7 年 3 月 14 日)	23 社・31 名
タイアップセミナー		
5	アイエイアイ&ダイドー 自動化ソリューション キャラバンカー展示会 (令和 6 年 7 月 11 日)	4 社・8 名
6	生産現場の課題をローコストで解決! SUS キャラバンカー展示会 (令和 6 年 12 月 18 日)	11 社・20 名



4. 他自治体等からの視察受け入れ

行政や産業支援機関、その他大学・団体等からの視察を 16 件・157 名受け入れた。経済産業省ロボット政策室「全国ロボット・地域連携ネットワーク(略称:RING プロジェクト)」において相模原市が先進地域に選定・紹介されたことを契機に全国からの視察が増加した。(例: 北海道、新潟県、福島県、石川県等)。

5. 全国支援機関ミーティング

ロボット等のデジタル技術活用支援に取り組む全国の行政機関や支援機関との WEB ミーティングを開催し、各地域のロボット活用支援の取り組みを共有するとともに、効果的な企業支援の在り方や行政の施策等について議論した。

2-2 NEDO 講座（日本ロボットシステムインテグレータ協会／令和6年～）

SIC の「ロボット Sler 養成講座」6 期実施の実績から、一般社団法人日本ロボットシステムインテグレータ協会（Sler 協会）より受託。機械・電気・制御の各分野に一定の理解を有する上級エンジニアを対象に、ロボット SI 検定 2 級に相当する総合的な実力の有無・程度を判断するための講座として「ロボットシステム設計講座（上級）」を実施する。

1. 開催概要

名 称	上級エンジニアのための「ロボットシステム設計講座（上級）」
日 程	第 1 回：令和 7 年 1 月 17 日（金） 9 時～17 時 第 2 回：令和 7 年 2 月 3 日（月） 13 時 30 分～16 時 30 分 第 3 回：令和 7 年 2 月 19 日（水） 13 時～17 時 第 4 回：令和 7 年 3 月 5 日（水） 13 時～17 時
会 場	第 1 回：神戸商工会議所（兵庫県神戸市） 第 2 回：繊維機械メーカー（兵庫県神戸市） 第 3 回：オンライン開催（Microsoft Teams） 第 4 回：神戸国際会館（兵庫県神戸市）
対象者	ロボット SI 実務経験 10 年以上。システム設計能力に加え、顧客の要望を引き出す技術も学びたい方。
受講者	5 社・6 名（定員 6 名）

2. カリキュラム

第 1 回	1. ロボットシステムインテグレーションの重要性 （日本ロボットシステムインテグレータ協会 参与 小平 紀生 氏） 2. 付加価値に着目したシンプルな設備設計 （青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 松本 俊之 氏） 3. ロボット SI 検定 2 級過去問検討 （高丸工業株式会社 代表取締役 高丸 正 氏）
第 2 回	工場見学 実際に自動化・ロボット導入を検討している製造業の工場見学を実施
第 3 回	中間発表会 第 2 回で見学した自動化対象工程について、受講者ごとに自動化システムを構想し、講師や見学先企業に向けて中間発表を実施
第 4 回	1. 最終発表会 中間発表を踏まえて、受講生ごとに再検討を行った自動化システムの構想を発表 2. 交流会 本講座に関わる人的交流の促進を目的に受講者や講師による交流会を開催



第 1 回



第 4 回



2-3 中小企業「カイゼン」支援 （西条産業情報支援センター／令和5年～）

四国最大規模の工業地帯である愛媛県西条市の産業支援機関、株式会社西条産業情報支援センターより受託し、中小企業における生産性向上の取り組みを後押しするため、自動化・ロボット導入に関心のある中小企業を対象とした自動化診断（診断企業選定・自動化診断・診断報告会）を実施する。



1. 事業の流れ

- (1)自動化可能性調査
自動化による生産性向上に関心のある企業を調査・選定
- (2)診断企業選定
自動化可能性調査を踏まえて診断企業を選定
- (3)自動化診断
専門家が工場を訪問し自動化診断を実施
- (4)診断報告会
診断結果を報告し自動化の方向性を提案
- (5)診断後フォロー
西条産業情報支援センターが自動化計画の策定や実践を支援

2. 連携した専門家

さがみはらロボット導入支援センター 所長 川下 敬之 氏

<経歴>

大学卒業後、国内の計装機器メーカーで制御システムの開発や製品開発者向け社内システムの開発に従事。その後、中小企業診断士として独立し、製造業を対象とした経営コンサルティング事業を開始。技術と経営の両面から企業の成長を支援することを使命に、ロボットやAIなどのデジタル技術を駆使して中小製造業の生産性革新を支援している。

3. 自動化診断の結果（2社）

- (1)繊維製造業（衛生品）
出荷工程の生産性向上に向けて、レイアウト変更や助力装置導入等の検討を行ったほか、効率的な生産システム設計の方向性を提示した。
- (2)食品製造業（和菓子）
食品業界特有の課題である「安全衛生」の観点を考慮した自動化の進め方について助言し、具体的なソリューションの紹介を交えながらロボット活用の道筋を提案した。

2-4 人づくり支援(サガツクナビ) (相模原市/平成21年～)

“地元企業の採用”と“地元で働きたい学生の就職”を神奈川県県央地域と東京都多摩地域で地元企業の魅力を伝えるイベントやインターネットでの企業情報発信により、地元企業と学生の出会いの場を創出し、新卒採用(就職)をサポートする。

会員数	
学生	企業
106名	28社
就業支援者(※1)および就業者(※2)	
就業支援者	就業者
延べ314名	延べ4名 うちサガツクナビ会員企業への就業者2名

※1 サガツクナビのサービスを利用した者

※2 就業支援者のうち内定を得た者

1. 情報発信

WEBサイトに企業情報、採用情報、イベント情報等の掲載し、学生向け・教職員向け・企業向けに個別にメールマガジンを配信した。SNSの情報発信は、X、Instagram、Facebookを活用し、サガツクナビや地元企業の認知度向上を図り、就職活動中の学生にとって有益な情報を発信した。さらに本年度は「キャリアデザインLab」をHP内に新設し、学生へ就活に向けての情報提供をした。

WEBサイトの制作、運営						
ユーザー数	6,838	セッション数	8,077	ページビュー	16,388	
メールマガジンの制作、配信						
学生版	2,057名/25回	就職課版	2,396名/25回	企業版	4,423名/25回	
SNSの制作、配信						
X(旧Twitter)	配信数	107	フォロー数	141	フォロワー数	35
Instagram	配信数	140	フォロー数	87	フォロワー数	97
Facebook	配信数	107	フォロー数	3	フォロワー数	53



2. イベント等

学生に対する個別相談 31 回（6 名）、地元企業と学生の相互理解を図るイベント・勉強会 8 回、合同企業説明会 2 回を開催した。また、地元企業からの相談対応、採用状況に関する調査などを実施、さらに就職活動の実状、内定状況などの把握のため大学キャリアセンターを訪問した。

学生に対する相談支援等（ジョブサポート）

学生 6 名に対し、延べ 31 回の個別相談を実施

学生向けキャリア育成支援（KAIMAMI シリーズ）

タイトル	回数	成果
社長とお茶会（第 1 回）	1	学生 14 名、企業 4 社 4 名が参加
社長とお茶会（第 2 回）	1	学生 13 名、企業 5 社 7 名が参加
社長とお茶会（第 2 回）オプション企画（企業訪問）	5	学生延べ 7 名、企業 5 社 7 名が参加
コミュニケーション能力養成講座	4	サレジオ高専電気工学科 4 年生延べ 65 名が受講、教職員延べ 4 名が参加
就活・インターン準備講座	4	サレジオ高専電気工学科 3 年生延べ 69 名が受講、教職員延べ 4 名が参加
地元企業見学会（キャリアデー）、事前説明会	1	サレジオ高専機械電子工学科 3 年生 34 名、教職員 1 名、企業 1 社 2 名が参加
地元企業見学会（キャリアデー）	1	サレジオ高専機械電子工学科 3 年生 40 名、教職員 2 名、企業 1 社 5 名が参加
就活生の視点で考える！採用活動強化セミナー	3	企業 2 社 2 名が参加

企業説明会（ジョブミーツ）

タイトル	回数	成果（累計）
神奈川工科大学学内合同企業説明会	1	学生 30 名、教職員 1 名、企業 7 社 11 名が参加
サレジオ高専学内合同企業説明会	1	学生 11 名、教職員 1 名、企業 6 社 11 名が参加



社長とお茶会



社長とお茶会（企業訪問）



サレジオ高専学内合同企業説明会

2-5 DX化促進支援 (相模原市/令和5年～)

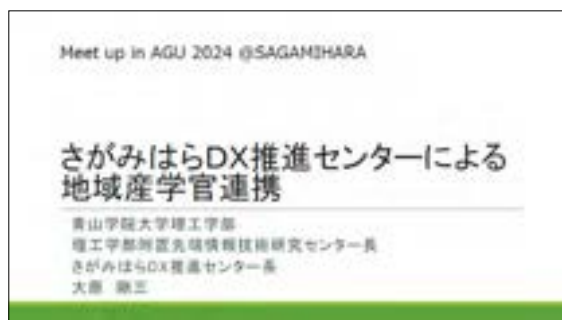
市内企業がビジネス環境の激しい変化に対応していくため、データやデジタル技術を活用によるDX化に向けた事業を実施した。効果的な支援を実施するため、青山学院大学内に相模原市が自治体として初めて設置した「さがみはら DX 推進センター」を通じた支援を実施した。

相談・伴走支援

DX化を目指す市内企業6社に大学研究者と訪問し、DX推進のための意見交換、現状の課題に対するアドバイスをを行った。活動の中で、市内企業と大学との産学連携のコーディネートを実施し、大学への技術相談から相模原市研究開発補助金を活用した研究開発を提案し、採択に貢献した。

DXフォーラム等の開催

「青山学院大学との連携による中小企業のDX化支援」をテーマに大学の産学連携イベントの中で事例紹介を行った。市内企業のDX化に向けたセミナー等による情報提供やデジタル人材育成、個別企業支援、連携コーディネートをトータルで実施している事例を紹介した。



その他事業成果

本事業により支援したAI警備システムを提供する企業と警備ロボットを開発している企業で今後の協業に向けた打ち合わせをきっかけに、両社の業務提携締結に繋がった。

過去、人材採用に課題がある市内企業の支援をした際に、近隣にある高専との連携構築、深化による安定的な人材採用を提案。企業側で取り組んだところ、高専人材を採用、その後、継続的な卒業生採用ができた結果、高専との包括連携協定締結という成果に繋がった。

2-6 カーボンニュートラル事業（大和市／令和4年～）

さがみロボット産業特区のエリア内にある大和市より受託し、社会情勢による取引先からの要請など様々な社会的環境変化に対応するため、効率的な生産やきめ細かいエネルギー管理などロボットをはじめとした各種デジタル技術を活用し、大和市内企業のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みの支援を目的として実施する。

1. 実態調査

小規模企業から中堅企業まで幅広い規模の製造業を訪問し、カーボンニュートラルに関するヒアリングを実施した。その結果、企業規模を問わず、取引先や金融機関等からカーボンニュートラルや環境配慮に関する調査が入る機会が増加傾向にあることがわかった。

2. カーボンニュートラルセミナー

様々な事例や制度情報の紹介を通して、市内企業におけるカーボンニュートラルの取り組みを後押しすることを目的にセミナーを開催した。



テーマ	中小企業のための脱炭素&カーボンニュートラル
日時	令和6年10月18日（金）15:00～17:00
場所	大和市文化創造拠点シリウス 6階・生涯学習センター（610大会議室）
参加者数	8社・9名
内容	講演①中小企業の脱炭素&カーボンニュートラルのリアル （独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部 企業支援部企業支援課） 講演②事例で学ぶ！現場で使える中小企業の省エネ実践ノウハウ （一般財団法人省エネルギーセンター） 講演③神奈川県&大和市の脱炭素・カーボンニュートラル支援施策 （神奈川県 環境農政局脱炭素戦略本部室、大和市 市民経済部産業活性化課）



3. カーボンニュートラルコンサルティング

カーボンニュートラルの実現に向けた計画策定や実践を後押しするため、温室効果ガス排出量の算定支援をはじめとしたコンサルティングを、自動車分野に携わる2社実施した。

両社ともに、すでに排出量の算定や削減目標の設定等には取り組んでいたため、人材育成や組織づくりを含めた、さらなる取り組みの進展に向け具体的なかつ専門的な支援を実施した。

4. 生産性向上コンサルティング

労働力不足等に対応した生産性向上を図るため、産業用ロボット等の導入支援を目的に、生産性向上コンサルティングを課題や現場の状況にあわせ2社へ実施した。

工程での生産性向上が課題の企業には、提案・情報提供により解決に向けた支援を行い、生産性向上に踏み出した企業へは事業構想を把握し、他社の事例を紹介しながら助言を行った。



2-7 綾瀬コンサルティング事業 (綾瀬市／令和元年～)

関東でも有数の町工場で栄える綾瀬市の中小企業に対して、生産性向上に向けた経営課題の「気づき」を与えることを目的に、綾瀬市内の製造業者で経営基盤の強化に関心の高い事業所に対し、コンサルティング支援を実施する。

事業実績

ーコンサルティング(本年度):10件(うち継続支援2件)
＊累計65件(令和元年～)

支援例:

職場環境整備(A社)

本事業によるヒアリングや工場視察を通して、「全社活動」「生産・改善活動」「マーケティング活動」「組織・人材管理」「財務管理」の5つの視点から解決すべき課題を明らかにした。抽出した課題解決として、女性従業員採用に向けた職場環境整備、スキルアップ及び作業マニュアルの作成等に対するアドバイスを行った。



生産性向上(B社)

ヒアリングや工場視察を通して、「付加価値の向上」と「効率の向上」の2つの視点から「独自性・独創性の発揮」、「価値や品質の見える化」、「生産・サービス提供プロセスの改善」の必要性をアドバイスした。支援先企業は、綾瀬市の施策等を活用しながら、積極的に生産性の向上に取り組むようになった。

親子間事業承継(C社) ※令和4年から継続支援先

2年間、事業承継者に経営の基礎知識と中期経営計画の作成を指導し、中期経営計画を社内で発表させ、経営者としての自信と従業員からの信頼獲得をサポートした。さらに、中期経営計画に基づき各部門のアクションプランの作成を支援し、PDCAサイクル導入の支援を行った。

3

研修・セミナー事業

企業のさらなる成長のためには、専門家によるセミナーを受講し、知識の取得と能力を磨く必要がある。設立より、企業が注目すべきテーマや参加型のゼミ方式のセミナーを実施している。本年度は、経営者が定期的に集まり、自社の課題をテーマに深掘する勉強会をより充実させた。

3-1 セミナー（経営者セミナー /HINT/ 勉強会）

3-2 職場リーダー養成塾

3-3 マネジメント人材育成

3-1 セミナー(経営者セミナー/HINT/勉強会)

第24回経営者セミナー



セミナータイトル	人はひとにしかできないことを〜共感対話がイノベーションを生み出す〜
開催日	令和6年10月23日(水)
講師	松橋 卓司 氏(株式会社メトロール 代表取締役社長)
主催	SIC、きらぼし銀行、町田新産業創造センター
参加者数	49名

HINT セミナー

会計・知財・法務・労務・資金調達など企業活動に必要な知識習得を図った。

*席に余裕がある場合は、地域企業の参加も可能



セミナータイトル	The HINT 65 B to B 型企業の Web マーケティング実践 応用編 〜人的営業活動をホームページで補うためには?〜
開催日	令和6年4月15日(月)
講師	小川 直樹 氏 (小川経営研究所 代表 中小企業診断士 IT コーディネーター)
参加者数	16名(5名)



セミナータイトル	The HINT 66 節税って何のため? 【おさえてきたい“節税”と“キャッシュフロー”の関係】
開催日	令和6年7月29日(月)
講師	佐藤 太一 氏 (Liberis Accounting 代表 税理士 中小企業診断士)
参加者数	10名(5名)



セミナータイトル	The HINT 67 会社を成長させる”定着採用”とは 〜1年で1億円事業となった採用戦略を学ぶ〜
開催日	令和6年9月2日(月)
講師	岡本 健太 氏 (定着採用株式会社 代表取締役 りすの訪問看護 代表)
参加者数	25名(3名)



セミナータイトル	The HINT 68 “価格転嫁”を円滑に進めるためには? 〜価格交渉は自社の強みをPRする絶好の機会!!〜
開催日	令和7年2月3日(月)
講師	川崎 雄史 氏 (ハンズオン・ジャパン 代表 中小企業診断士 伸びる会社の仕組みづくりコンサルタント)
参加者数	9名(3名)

勉強会（入居者向け）

ビジネスフレームワーク等を用いて分析・事業戦略の立案をワークショップ型で実施した。

※ファシリテーターはSICのIMが担当



セミナータイトル	事例で考える!!新規事業企画の基本
開催日	令和6年7月16日（火）
参加者数	8名



セミナータイトル	経営者として身に着けたい財務諸表の眺め方
開催日	令和6年10月21日（月）
参加者数	8名



セミナータイトル	生産性向上・業務効率化のためのデジタルツール活用
開催日	令和6年12月2日（月）
参加者数	11名



セミナータイトル	実は面白い「財務」“大企業の財務”ってどんな感じ？
開催日	令和7年1月23日（木）
参加者数	5名

3-2 職場リーダー養成塾 (平成19年～)

地元の経営者の「職場のリーダー人材の育成と若手社員の地域のつながりをつくりたい」の声に応え開講した。中小・中堅企業の中間管理職者のリーダーシップ力を養成し、地域企業の成長に必要な将来の幹部候補人材を育成する。

日 程	令和 6 年 6 月 8 日 (土) ～ 12 月 11 日 (水) 全 10 回 ※個別フォロー含む。事前に塾生の状況把握のための訪問あり。
会 場	さがみはら産業創造センター (SIC) 他
対象者	中小・中堅企業の職場のリーダー及びリーダー候補
講 師	メインコーディネータ(課題解決研修): 貫井 政文氏<中小企業診断士> コミュニケーション研修: 松田 チャップマン 与理子氏<桜美林大学教授> プレゼンテーション研修: 松尾 由紀子氏<元アナウンサー / スピーチコーチ>
受講者	11 社・16 名



受講者の声

生産中に起こる機械トラブルの復旧作業が部下だけでは出来ず、チョコ停や不良品が発生し、生産効率が落ちていた。リーダー塾での実践期間中に、コーチングで学んだ傾聴や質問を生かして、部下に教育を行った。オープンな質問により部下の考える力を引き出した。その結果、「どうすれば機械が復旧出来るのか?」や「どのような原因で機械が止まったのか?」など、部下が自分自身で考えて積極的に取り組むようになった。(T 社: K・N さん)



(令和3年～)

「事業の中核を担うマネジメント人材の育成と組織力強化の進め方」

独立行政法人中小企業基盤整備機構と連携して、将来的に経営者や経営幹部候補ともなりうる「マネジメント人材」に求められる役割や能力、マネジメント人材育成の必要性を理解し今後の組織づくりのポイントを学ぶ研修を実施する。

1. 開催概要

名 称	事業の中核を担うマネジメント人材の育成と組織力強化の進め方
日 程	第1回：令和6年8月20日（火）9時50分～17時 第2回：令和6年8月21日（水）10時～17時 第3回：令和6年9月10日（火）10時～17時10分
会 場	サン・エールさがみはら
対象者	経営幹部、経営幹部候補者 ・新たに人材育成や人事制度の構築をしたい方又は見直しを進めたい方 ・人材育成や組織づくりに取り組む方 ・将来、マネジメント人材になってほしい方
講 師	東京保健医療専門職大学 特任教授／事業構想大学院大学 客員教授 片岡 幸彦 氏
受講者	8社・13名（定員15名）

[illegible]

4

賃貸事業

2000年にインキュベータ（企業育成施設）として SIC-1 Startup Lab. の供用開始以来、25年間で3施設4棟151室を整備し、また2010年から SIC-1 内にはコワーキング「EN-Garage」を整備した。これまで居室は約260社が入居、「EN-Garage」は約170人が利用、当センターから計430の新規事業が創出・育成された。

居室は、フレキシブルに拡張できる14種を整備し、各分野の研究開発や事業活動に適している。本年は、需要に応え新たに1種類の貸室の仕様変更を行い、全15種の居室を有することとなった。

4-1 SIC 入居企業データ

4-2 SIC-1 Startup Lab.

4-3 SIC-2 Creation Lab.

4-4 SIC-2 R&D Lab.

4-5 SIC-3 Innovation Lab.

4-6 EN-Garage

4-7 施設その他



SIC-1 Startup Lab.



2000 年、創業者育成と中小企業の新分野進出を支援する賃貸型企業育成モデルであるインキュベータを整備した。創業者のイニシャル・ランニングコストの低減のため共用設備を導入し、様々な中小企業の研究開発促進に利用できるように室内仕様は3タイプ5種類用意しており、フレキシブルな機能的設計と賃貸率の高さは、その後、各地で整備されたインキュベータのモデルとなった。



SIC-2 Creation Lab.



2002 年、整備 1 年目に満床となった SIC-1 の成長著しい企業の事業規模拡張のためのポストインキュベータとして整備された。創業期から拡張期に成長した企業のため研究開発型とオフィス型の 2 タイプで全室 50 m²の部屋で構成し、産学連携や企業間連携による利用まで想定した設備仕様になっている。



SIC-2 R&D Lab.



2019 年、地域産業をけん引する SIC のフラッグシップ企業の移転や成長産業の研究開発企業の誘致施設として、これまでの SIC が追求してきた機能性に富んだ施設の整備ノウハウを集約して、多様な研究開発利用に応えることができる優れた仕様で整備した。



SIC-3 Innovation Lab.



2011 年、SIC-1 及び SIC-2 で成長した研究開発型企業が、より重厚な研究開発や量産を行うためのポストインキュベータとして準工業地域に整備した。室内は、1 階と 2 階を有し、6 メートルの天井高、充実した電気・水道等のインフラ整備、さらに低廉な賃料は、生産拠点としての利用に富んでいる。



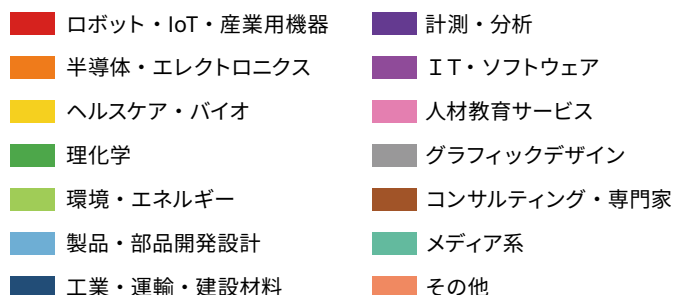
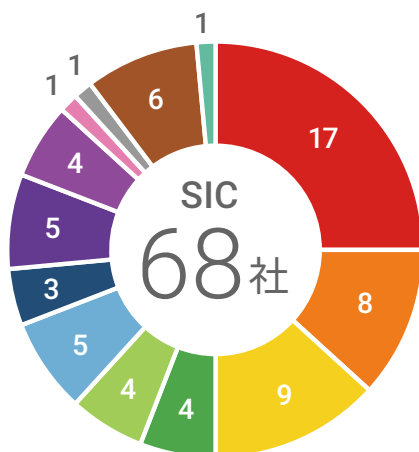
EN-Garage



2010 年、創業準備用の小型の間仕切り型シェアードオフィスをリニューアルし、多様な人々がオフィススペースや設備を共有し交流が生まれることを目的にコワーキングスペース Desk10 を整備し、さらにものづくり系の起業家の作業スペース Fab10 を追加整備し、両機能を併せ、起業家創出の新たなコワーキング施設 EN-Garage とした。

4-1 SIC 入居企業データ (令和7年3月末)

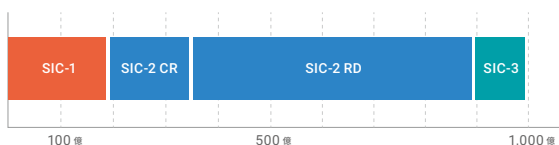
■業種



■売上高合計

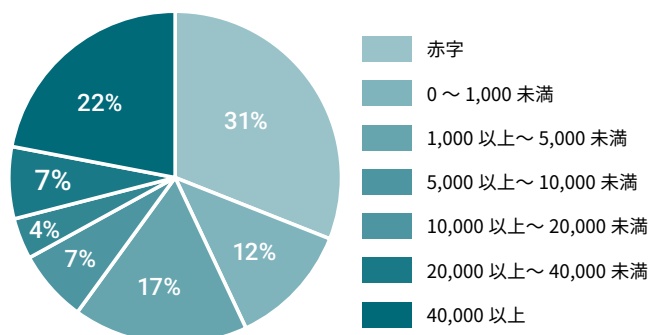
94,994,195 千円

※上場企業を除く



■最終利益

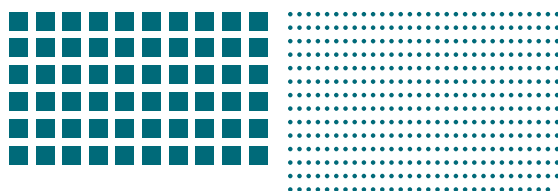
(千円)



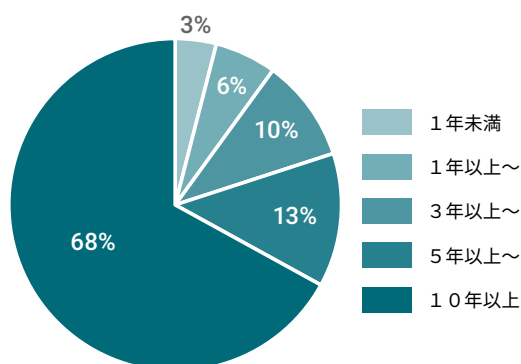
■入居企業および雇用者合計

60社 419人

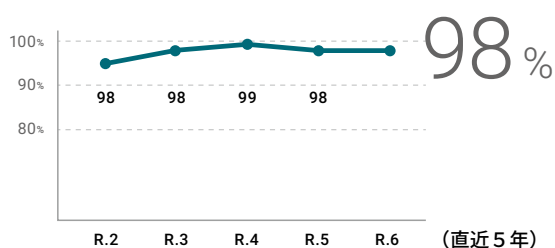
※上場企業を除く



■創業年数



■入居率



■メディア掲載数

13社 25件

※入居企業調査データに基づいて記載しています。

■知的財産（令和6年度内）

（件）

	特許		実用新案		意匠		商標	
	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数
出願数	11	34	0	0	0	0	3	4
うち海外	4	13	0	0	0	0	0	0
権利化数	9	121	0	0	2	2	4	105
うち海外	3	145	0	0	1	7	1	816

■研究開発補助金（令和6年度内）

5社 7件 328,640千円

- ・カーボンニュートラル研究開発プロジェクト推進事業
- ・さがみはらイノベーションゲート
- ・相模原市中小企業研究開発補助金
- ・中小企業経営支援等対策費補助金（戦略的基盤技術高度化支援事業）
- ・令和5年度中小企業経営支援等対策費補助金
- ・相模原市産業用ロボット導入補助金
- ・R5カーボンニュートラル研究開発プロジェクト推進事業

■展示会出展（令和6年度内）

23社 35件

- ・かながわロボットイノベーション2024
- ・国際発酵・醸造食品産業展
- ・オートモチーフワールド（第17回）
- ・CPHI JAPAN 2024
- ・ウェルディングショー
- ・第26回日本臨床獣医学フォーラム年次大会
- ・塗料・塗装設備展 東京展
- ・インターモールド
- ・たまた未来・産業フェア
- ・九州アグロイノベーション
- ・JIMTOF
- ・第45回動物臨床医学会年次大会
- ・JPCA
- ・テクニカルショーヨコハマ2024
- ・建設RXコンソーシアムExhibition2024
- ・トヨタ自動車株式会社田原工場 プライベート展示
- ・ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2024
- ・RX JAPAN
- ・軽金属学会機器展示
- ・平田機工展示会
- ・VISION2024
- ・相模原SDGsEXPO2025
- ・第33回日本脂質栄養学会学術大会
- ・日本化粧品原料協会
- ・日本金属学会付属機器展示
- ・テクノフロンティア
- ・神奈川県炭素アクションフォーラム
- ・第12回日本DOHaD学会
- ・SEMICON
- ・耳の日記念文化祭福祉機器展示
- ・RMS Meething（イギリス）
- ・DNP つくば

■新製品・新サービス（令和6年度内）

15社 24件

- ・屋外微生物純粋培養装置レンタル
- ・乾燥血液簡易検査キット（モニター配布を9月に実施）
- ・大成建設キャランサービス契約
- ・試験検査コーディネートサービス
- ・ナノベル805（近接高塗着ベル）
- ・微風センサ
- ・BR-1000A 1000BASE-T 通信品質測定器
- ・Robot Studio 2024
- ・高接着性電磁銅板用処理剤の開発およびその販売
- ・Naiad TEM 用液中資料作成装置
- ・AC・2430
- ・オートケミカル関連商品 45商品
- ・temo-Spotter FS・200M
- ・SLG-150V-NIR740,1650
- ・2重三相モータ対応フルSiCインバータ
- ・エヌバット（株）事業開発サポート契約
- ・GoFa Ultra accuracy
- ・光触媒コーティング剤 1商品
- ・temo-Spotter FS・300M
- ・CB-MT-300
- ・微生物簡易測定器 1商品
- ・SPX-TA200-UV
- ・カスタム COB LED

4-2 SIC-1 Startup Lab.



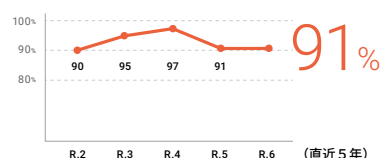
SIC-1

2000年4月、スタートアップ企業育成のインキュベータとして整備。事業用途に合わせた5タイプ47室の貸室、受付、ロビー、商談室、会議室、屋上実験場を備えている。1階には、コワーキングエリア「EN-Garage」を設け、利便性に富んだ場を提供する。

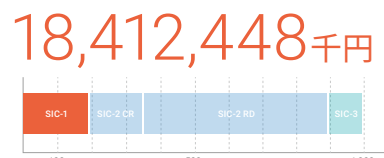
■施設概要

所在地：相模原市緑区西橋本 5-4-21
構造：鉄構造 3階建物
敷地面積：2,500 m²
建築面積：1,225 m²
延床面積：2,623 m²

■入居率



■売上高合計



■雇用者合計

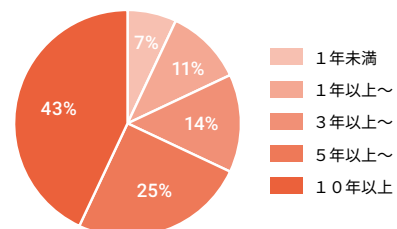
23社 72人



■業種

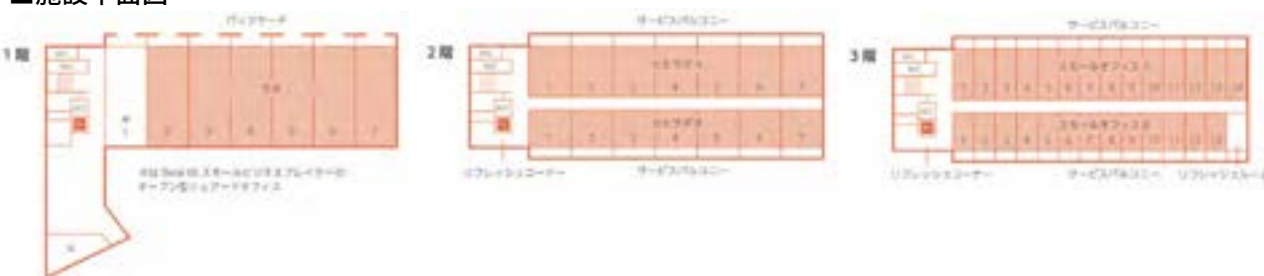


■創業年数



※入居企業調査データに基づいて記載しています。

■施設平面図



4-3 SIC-2 Creation Lab.



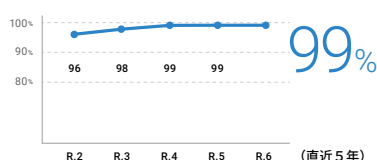
SIC

2002年4月、研究開発企業と成長企業へ良質な操業環境を提供するポストインキュベータとして整備。最大200㎡まで拡張できる研究開発型のセミラボと事業活動用のオフィスの2タイプ48室の貸室を備え、1階には経験豊かなインキュベーションマネージャー8名を配置している。

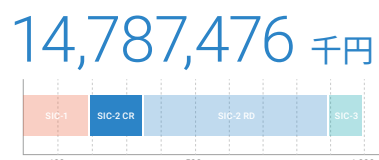
■施設概要

所在地：相模原市緑区西橋本 5-4-30
構造：鉄骨造 7階建物
敷地面積：2,500㎡
建築面積：701.36㎡
延床面積：3,862.40㎡

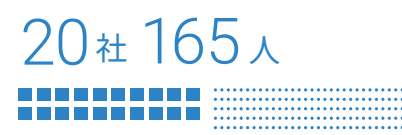
■入居率



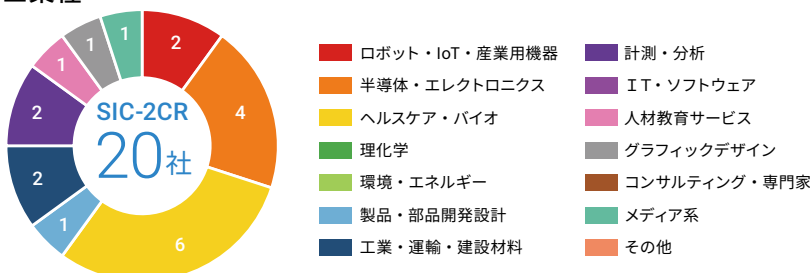
■売上高合計



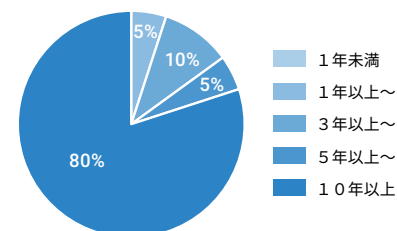
■雇用者合計



■業種



■創業年数



※入居企業調査データに基づいて記載しています。

■施設平面図



4-4 SIC-2 R&D Lab.

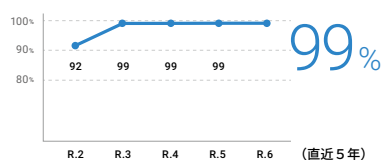


2019年9月、地域をけん引する成長産業分野の研究開発型企業の育成のため整備。ドライ使用からウェット使用まで利用でき、最大5室315㎡まで拡張できるマルチラボ29室を備え、多様な研究開発に対応している。

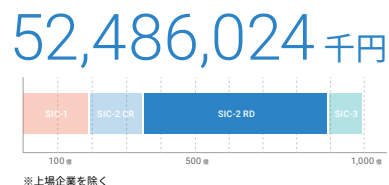
■施設概要

所在地：相模原市緑区西橋本 5-4-30
構造：鉄骨造 6階建物
敷地面積：2,500㎡
建築面積：614.79㎡
延床面積：2,735.46㎡

■入居率



■売上高合計



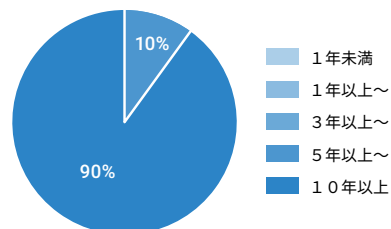
■雇用者合計

10社 99人

■業種

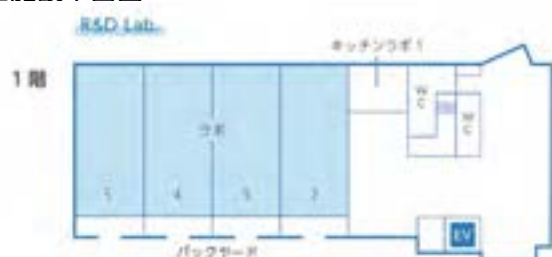


■創業年数



※入居企業調査データに基づいて記載しています。

■施設平面図



4-5 SIC-3 Innovation Lab.



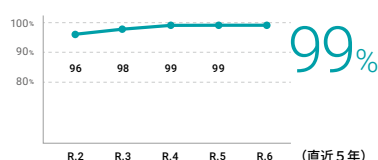
SIC3

2011年12月、準工業地域の特性を活かした貸工場のインキュベータとして整備。天井高6メートル、中2階を有し、大型機械の設置による研究開発から製品製造まで可能なラボ14室と研究開発や事務所として利用できるセミラボ12室を備えている。

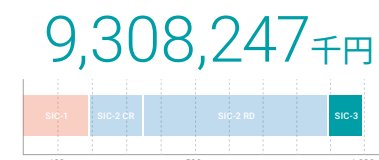
■施設概要

所在地：相模原市中央区上溝 1880-2
構造：鉄構造 3階建物
敷地面積：3,396 m²
建築面積：1,566 m²
延床面積：2,504.88 m²

■入居率



■売上高合計



■雇用者合計

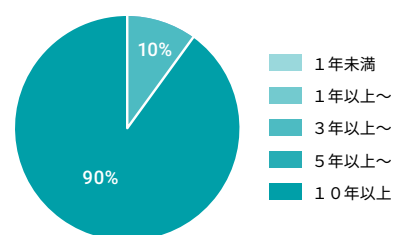
7社 83人

■業種



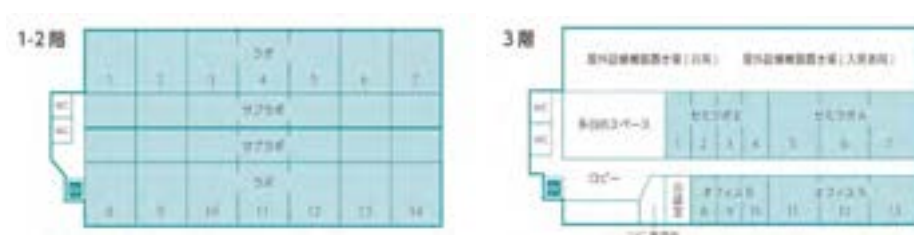
- ロボット・IoT・産業用機器
- 半導体・エレクトロニクス
- ヘルスケア・バイオ
- 理化学
- 環境・エネルギー
- 製品・部品開発設計
- 工業・運輸・建設材料
- 計測・分析
- IT・ソフトウェア
- 人材教育サービス
- グラフィックデザイン
- コンサルティング・専門家
- メディア系
- その他

■創業年数



※入居企業調査データに基づいて記載しています。

■施設平面図



4-6 EN-Garage



創業者向けシェアサービス

Desk ⑩

Desk ⑩はデスクワーク利用に最適で、オフィス環境をシェアすることでリーズナブルな料金としている。リモートワークの場所としても利用可能。

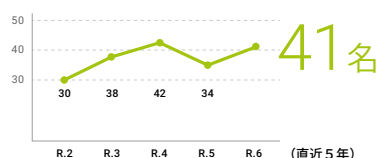
Fab. ⑩

Fab ⑩ではものづくり環境を提供し、軽微な組み立てや評価・検査などのスペースとして、また、設計業務などを行うプランニングエリアも整えている。

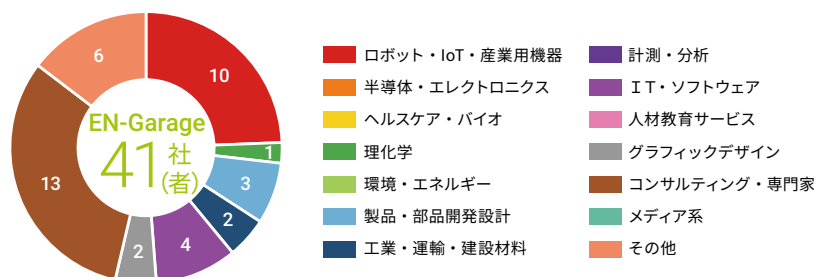
キッチンラボ^{Kitchen Lab.}

創業者向けシェアサービスの一環として“キッチンラボ”を運営している。キッチンラボは、これから飲食店の開業を目指す方に短期間での利用が可能。開業前のメニュー試作やオペレーションの試行をすることで、本格的な開業を円滑化させ、地域内の繁盛店創出に貢献する。

■会員数

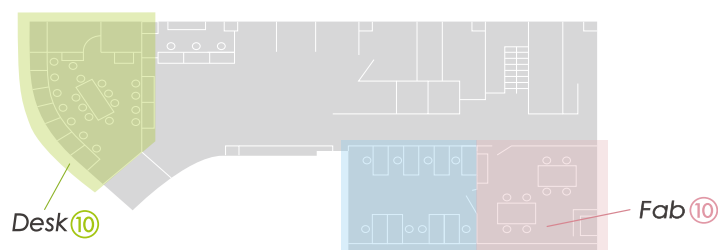


■業種



※入居企業調査データに基づいて記載しています。

■施設平面図



4-7 施設その他

■入居企業交流会

経営者交流会 令和6年7月9日 21社22名参加



大望年会 令和6年12月17日 17社42名参加



■SIC-1 Startup Lab. 大規模修繕

期間 令和6年12月16日～令和7年3月14日

外壁工事／SIC-1 Startup Lab. 駐車場アスファルト再舗装および駐輪場拡張



SIC-1 Startup Lab. スモールドライラボ整備



■SIC 大掃除



5

その他事業

未来に向けた産業振興活動として、これまでの経験とノウハウをもとに、産業支援機関を支援するプロジェクトを行い、他機関のビジネスインキュベータの整備・運営の支援に力を入れている。また、未来を担う子供たちに向けた事業の子ども起業家教育事業は、今回で 22 回目を迎え、これまで 500 人の相模原市の子供たちが参加し、社会で活躍している。さらに昨年度から福祉事業と連携した企業の SDGs の取り組みモデルの実証を行い、福祉と産業の新たなテーマに取り組んでいる。(P3 事業実績ハイライト参照)

5-1 インキュベーションコンサルティング

5-2 子どもアントレ・アントレチャレンジ

5-1 インキュベーションコンサルティング

第三セクターの産業支援機関としての経験とスキルをもとに、未整備や課題を抱える行政機関、産業支援機関、企業団体等を対象に視察、講演、コンサルティング、運営支援により地域産業の活性化に貢献する。

視察受入 15 件

相模原市（SDGs、無錫市）、関東経産局（デジタル経済課）
自治体（指定都市東京事務所協議会、北九州市、南相馬市）
産業支援施設（川崎市産業振興財団、公益財団法人北九州産業学術推進機構、株式会社つくば研究支援センター）
民間企業（設計会社 1 社、デベロッパー 3 社、コンサルティング会社 2 社）

研修

一般社団法人 JBIA IM 養成研修、BI 実習受入

国内の行政・産業機関の視察、講演に対応した。また、国内インキュベータの発展のため JBIA(社団法人日本ビジネスインキュベーション協会) の実施するプログラムへ協力し、研修講師、研修生の受け入れなどに応え日本の産業振興へ貢献した。

JBIA の現地実施研修



JBIA が毎年実施するインキュベータの運営人材である企業伴走支援を実施するインキュベーションマネージャー養成講座に対し、当社シニアインキュベーションマネージャーのスタッフが研修講師を受け、現地研修希望の受講生 3 名を SIC 独自の 1 泊 2 日のカリキュラムで実施した。

行政機関からの視察対応



これから新たにビジネスインキュベータを整備する行政機関や地域特性を活かした産業支援モデル創出を目指す産業支援機関の個別の視察に対応し、有料による専門的な視点での説明、当社の各事業モデルの成り立ちとその後についてコンサルティングを実施した。

5-2 子どもアントレ・アントレチャレンジ

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業【子どもアントレ】(平成13年～)
「アントレ・チャレンジ」プロジェクト【アントレチャレンジ】(平成16年～)

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業

子どもアントレは相模原市の小学生を対象とした起業家体験事業を、相模原市と地域の公的機関からの後援並びに多くの地域企業と個人の方の協賛を受けて開催し、将来の産業を支える人材の育成を図るとともに大きな夢を持った子ども達の育成を地域一体となって取り組む。



体験プログラム

初めて出会う仲間6人で「会社設立、事業計画書作成、資金調達、商品の製造・販売、決算」という会社経営のプロセスを、4日間かけて体験した。

また体験を通じ、(1) 会社や経済の仕組みを知る(2) 失敗を恐れずに挑戦できる心を養う(3) 自分の考えで行動できる力を養う(4) チームワークの大切さを知る(5) お金の大切さを実感する の5つを学んだ。



実施内容

【日 程】令和6年8月6日(火)、8月9日(金) から11日(日) まで(全4回)

【参加者】 47名



プログラムの狙い

1. 会社や経済の仕組みを知る
2. 失敗をおそれずに挑戦できることを養う
3. 自分の考えで行動できる力を養う
4. チームワークの大切さを知る
5. お金の大切さを実感する

会社設立	事業計画書の作成	融資交渉	仕入れ	商品製造	販売	決算
------	----------	------	-----	------	----	----

1・2日目

3日目

4日目



「アントレ・チャレンジ」プロジェクト

平成16年(2004)に始まり、大学生チームが「子どもアントレ」の企画・運営を行い、その過程で自己と向き合い、自分を磨き、チームワークの醸成などを経験するとともに、地元企業の経営者との交流を通じて、自分の将来を考えるきっかけを提供している。

活動内容

【日程】令和6年6月15日(土) から

9月28日(土) まで(全30回)

【参加者】 5名



プログラムの狙い

1. プロジェクト(子どもアントレ)の企画・運営(仕事体験)を通じて、起業家精神(チャレンジ精神、創造性等)および主体性を涵養する。
2. 経営者との交流、社会人の思考や行動を知ることなどを通じて、将来(キャリア)を考えるきっかけとともに、社会人としての心構え、あるべき姿を学ぶ。

キックオフ	経営者との交流	コーピング研修	子どもアントレ	活動結果振り返り	自己成長の振り返り	結果報告、修了式
-------	---------	---------	---------	----------	-----------	----------

企画・研修

事業実施

振り返り・将来へ

6

広報

SIC の活動と支援先企業を紹介するため、かわらばん（入居版・地域版）の発行、SNS の発信、報道機関への情報提供を行っている。令和 5 年版の事業報告書から掲載情報の変更や、実績などをわかりやすい表現へ変更した。また、各事業の目的や経緯とともに、SIC が業務をする意義を示した。他かわらばんでは、活躍した入居企業や他団体のセミナーを取り上げ、読者が身近に感じられる工夫をした。

6-1 メディア・SNS

6-2 広報誌かわらばんの発行

6-1 メディア掲載・SNS

■メディア掲載

年月日	メディア名	表題
2024/6/18	日刊工業新聞	『マネジメント人材育成研修 中小機構関東』
2024/9/13	日刊工業新聞	『チーム経営の強み さがみはら産業創造センター』
2024/10/2	神奈川新聞	『製造業の自動化支援』
2024/12/6	神奈川新聞	『自動化で業務改善を』
2025/2/25	日刊工業新聞	『産学官連携を推進』
2025/3/5	日刊工業新聞	『振興に小規模ドライラボ』
2025/3/10	相模経済新聞	『1～2人向けの研究開発貸室』

■SNS実績

SNS名	投稿回数	総ビュー数	インタラクション
Facebook	40	2800	508 (17.8%)
note	9	5790	-

facebook



note



6-2 広報誌かわらばんの発行

■地域企業版

No.	発行日	紹介企業名（地域企業）	紹介	企画ページ
90	2024/5/15	株式会社 PXP	本村市長が SIC に来訪されました！	良かれと思った配慮が仇になる ～女性の活躍を妨げる無意識の慈悲的性差別～
91	2024/7/16	株式会社リガルジョイント	SDGs に取り組む SIC	中小企業のデジタルトランスフォーメーション
92	2024/9/17	株式会社 AIRWOLF	株式会社 Puerto（入居企業紹介）	デジタル活用によって強くなる会社の作り方
93	2024/11/15	ARM Technologies 株式会社	黒岩知事が SIC に来訪されました！	DX 取組事例から見える DX 推進の課題と進め方のポイント
94	2025/1/15	株式会社相模運輸	全国に広がるインキュベーション活動	謹賀新年
95	2025/3/17	尾崎ギヤー工業株式会社	インテグリアル株式会社（入居企業紹介）	ビジネス・インキュベーションの普遍性



■入居企業版

No.	発行日	紹介企業名（地域企業）	No.	発行日	紹介企業名（地域企業）
239	2024/4/1	株式会社 Safamii	240	2024/5/1	株式会社 Vanwaves
241	2024/6/3	株式会社食機能探索研究所 BABILON	242	2024/7/1	一般社団法人首都圏産業活性化協会 (TAMA 協会)
243	2024/8/1	Careea-Now（現株）Career-Now55	244	2024/9/2	有限会社青山モータードライブテクノロジー
245	2024/10/1	株式会社カイゼン・マイスター	246	2024/11/1	リモートスイッチ株式会社
247	2024/12/2	DAYScape 株式会社	248	2025/1/6	新年のご挨拶
249	2025/2/3	株式会社 Quantec	250	2025/3/3	FAgent 株式会社



7

基本情報

組織体制としては、令和4年から組織の推進力をあげるため、事業創造部を2課とした。特にプロジェクト事業に携わる“イノベーション課”を6月から“イノベーション推進課”と改めた。また長年 SIC を支えたスタッフ2名が退職したが、新たに1名採用した。

7-1 財務状況・スタッフ数

7-2 さがみはら産業創造センター (SIC) のあゆみ

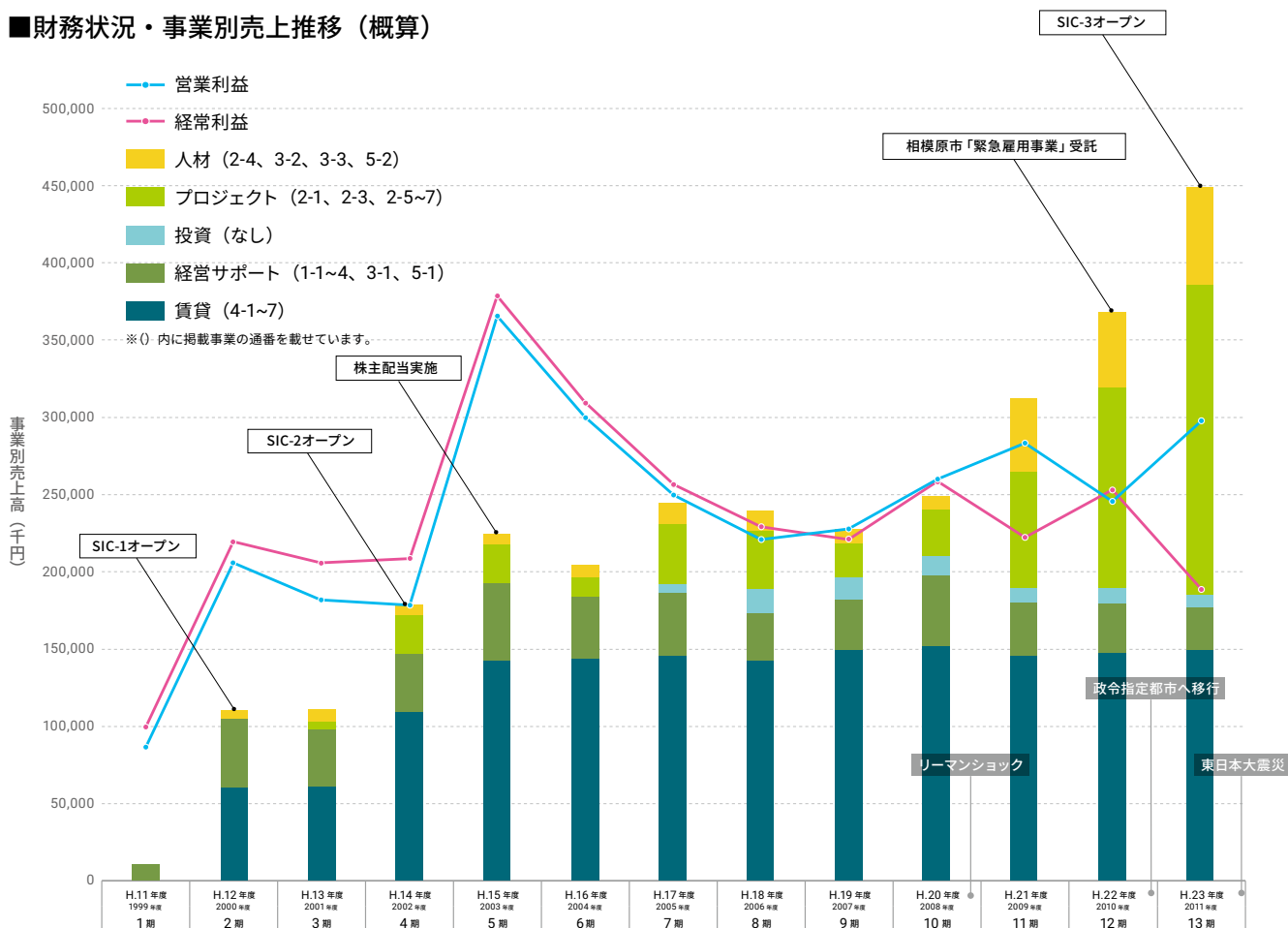
7-3 競争的資金の獲得

7-4 表彰・認定

7-5 役員・組織図・株主

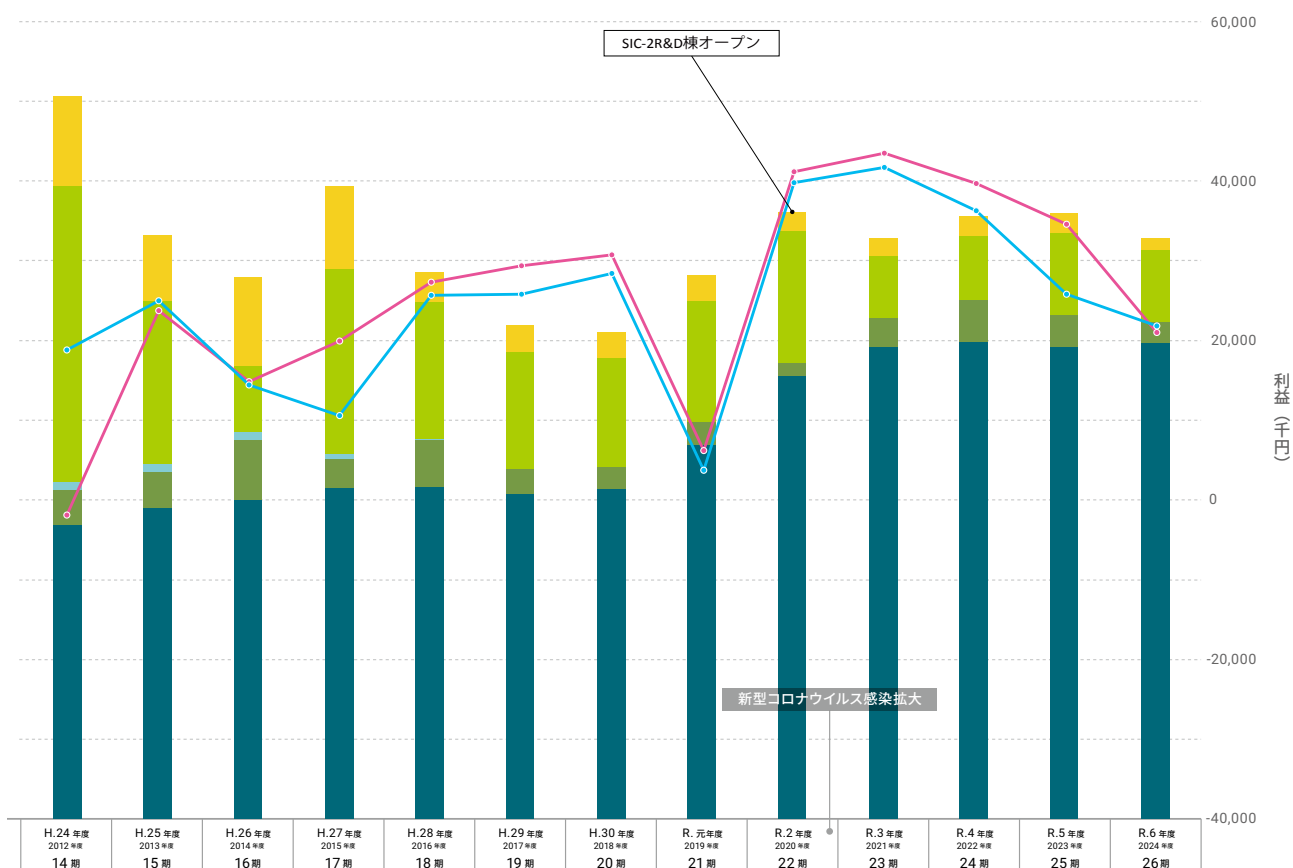
7-1 財務状況・スタッフ数

■財務状況・事業別売上推移(概算)



■直近5年間 PL 推移および事業別売上高

	R.2 年度 2020 年度 22 期	R.3 年度 2021 年度 23 期	R.4 年度 2022 年度 24 期	R.5 年度 2023 年度 25 期	R.6 年度 2024 年度 26 期
人材	11,212	11,079	12,208	11,636	7,563
プロジェクト	83,045	38,551	40,545	51,635	45,768
投資	0	0	0	0	0
経営サポート	8,217	18,248	25,596	20,412	12,815
賃貸	277,910	296,197	299,669	296,040	298,414
その他	0	0	0	0	0
売上合計	380,385	364,076	378,019	379,723	364,561
営業利益	39,159	41,019	36,715	25,378	21,565
経常利益	40,541	42,701	39,041	34,023	20,781



■直近5年間スタッフ数

	R.2年度 2020年度 22期	R.3年度 2021年度 23期	R.4年度 2022年度 24期	R.5年度 2023年度 25期	R.6年度 2024年度 26期
常勤役員	3	3	3	3	3
非常勤役員	11	12	11	11	11
IM	6	6	7	8	8
事務	3	4	4	3	2
相模原市からの出向	0	0	0	0	0
中小機構からの出向	0	0	0	0	0
銀行からの出向	1	1	1	1	1
出向計	1	1	1	1	1
計	10	11	12	12	11
契約スタッフ	1	1	0	0	0
パートタイマー	2	2	2	2	2

2010 平成 22 年	2011 平成 23 年	2012 平成 24 年	2013 平成 25 年	2014 平成 26 年	2015 平成 27 年	2016 平成 28 年	2017 平成 29 年	2018 平成 30 年	2019 平成 31 年 令和元年	2020 令和 2 年	2021 令和 3 年	2022 令和 4 年	2023 令和 5 年
「川上・川下ネットワーク構築事業」 省「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」													
→全国中小企業団体中央会「ものづくり中小企業・事業者連携支援事業」													
ラム事業													
ダー養成塾の) 開始へ)													
・高度研究人材活用事業													
→ヘルスサイコロジー研究所													
→さがみはら表面技術研究所													
↑相模原市「新技術実用化コンソーシアム形成支援事業」													
・神奈川県「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト事業													
・相模原市「産業用ロボット導入支援事業」													
→さがみはらロボット導入支援センター オープン													
↑大和市・座間市・寒川町より「ロボット導入支援事業」													
・綾瀬市「ビジネスマッチング事業」受託													
↑綾瀬市「中小企業へのコンサルティング事業」													
・相模原市「ロボット・AI・IoT 活用 DX 化促進支援事業業務委託」													
↑大和市「カーボンニュートラルの実現に向けたロボット等デジタル活用支援」													
中止													
中止													
・SIC アントレ・チャレンジ													
急雇用事業 →地域産業界の人づくり支援事業													
・企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力拝見！」出版													
・企業紹介冊子「い〜コトなび」発行													
↑「サガツクナビ」ポータルサイトオープン													
↑地域活性化事業「地域資源発信プロジェクト」													
・地域発信冊子「韭尾根のブルーベリー」発行													
・地域発信冊子「里山コミュニティ」発行													
・SIC カイゼン研究会													
↑SIC カイゼンスクール													
・サテライト・ゼミ「マネジメン 人材の育成と組織力強化の進め方」													
・SIC1 号資事業有限責任組合解散													
・SIC 台湾ビジネスセンターオープン													
・きらぼし事業支援プログラム													
版)													
・Desk10 オープン													
・En-Garege オープン													
・SIC-2R&D オープン													
・SIC-3 オープン													

7-3 競争的資金の獲得

年 度	資金獲得先	事 業 名	資 金 額
平成 14 年度	経済産業省	即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業 「次世代デバイス用超高精度ナノレベル研磨・洗浄複合装置の開発」	40,000
平成 17 年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	20,000
平成 18 年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	22,000
平成 20 年度	中小機構	川上川下ネットワーク構築支援事業 「次世代エネルギーシステムの早期実用化ネットワーク構築」	25,600
		新現役チャレンジ支援事業 「新現役人材による中小企業支援のモデル事業としてカイゼン支援プログラム開発」	
		ビジネス・インキュベータ（ＢＩ）における広域的ネットワーク構築の調査事業 「“ グループインキュベーション “ 手法の開発と検証 ―ネットワークによる支援と手法のネットワーク化―」	
	神奈川県	ベンチャー創出促進モデルプロジェクト事業 「動物病院医療市場を対象とした犬のアレルギー及び免疫検査受託事業」 「静電エンコーダの事業化」	
平成 21 年度	経済産業省	低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業 「太陽光雨水などの自然の恵みを有効活用した安全・安心な低炭素社会システムの構築」	64,000
平成 22 年度	経済産業省	中小企業海外販路開拓支援事業（台湾ビジネスマッチング） 「神奈川県ビジネス・インキュベータ連携によるＩＴ／エレクトロニクス分野 研究開発型ベンチャー企業の海外販路支援事業」	11,500
平成 23 年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」	7,000
	中小機構	ＢＩネットワーク構築事業 「Ｔ－ＢＩＳＣの整備に協調・連携した国内外ビジネスマッチング事業」	
	神奈川県	新産業ベンチャー事業化支援事業 「生物機能制御・改善のための体内時計調節剤及び関連試薬の開発」	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
平成 24 年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」 高度実践型支援人材育成事業	101,700
	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわエネルギー関連ベンチャーマッチング・パートナーリング支援事業	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業	
平成 25 年度	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「表面形状を制御した医療用機能部品の要素開発」	8,000
平成 26 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業イノベーション事業	33,900
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」	
平成 27 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業育成支援事業 新技術実用化コンソーシアム形成支援事業	21,470
	相模原市	「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」 コンソーシアム加速化支援事業	
平成 28 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業育成支援事業	17,770
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	
平成 29 年度	神奈川県	成長ベンチャー情報発信事業 [エネルギー及びＩＴ分野]	6,480
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	
平成 30 年度	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	2,777
令和元年度	相模原市	ロボット制御・AI 等共同研究開発事業	9,090
令和 2 年度	相模原市	ロボット制御・AI 等共同研究開発事業	13,636
令和 4 年度	神奈川県	ロボット開発プロジェクト総合支援事業	5,000

(千円)

7-4 表彰・認定

表彰

JAPAN Venture Awards 2007

平成 19 年 2 月
企業支援家部門
経済産業大臣表彰



BI 認定※(JBIA 認定)

平成 23 年～

一般社団法人日本ビジネス・インキュベーション協会の審査に合格した BI 事業者を認定。(全国 14 団体)



一般社団法人日本立地センター 感謝状

平成 29 年 11 月

IM 養成研修での実地実習(BI 実習)の受入人数が平成 16 年から 100 人を超えたことに対する感謝状。



総務省 第三セクター改革等先進事例集

平成 30 年 3 月

地域の企業経営者の経営参画による地域産業振興が先進事例としてあげられた。



イノベーションネットアワード 2023

令和 6 年 6 月
一般社団法人日本立地センター
理事長賞受賞
「相模原におけるロボット活用エコシステムの形成による地域産業のインキュベーション事業」

地域資源を活かした新事業・新産業の創出につながる優秀な取組の表彰



認定

さがみはら SDGs パートナー

登録日：令和 5 年 5 月 31 日



かながわ SDGs パートナー

登録日：令和 5 年 11 月 27 日

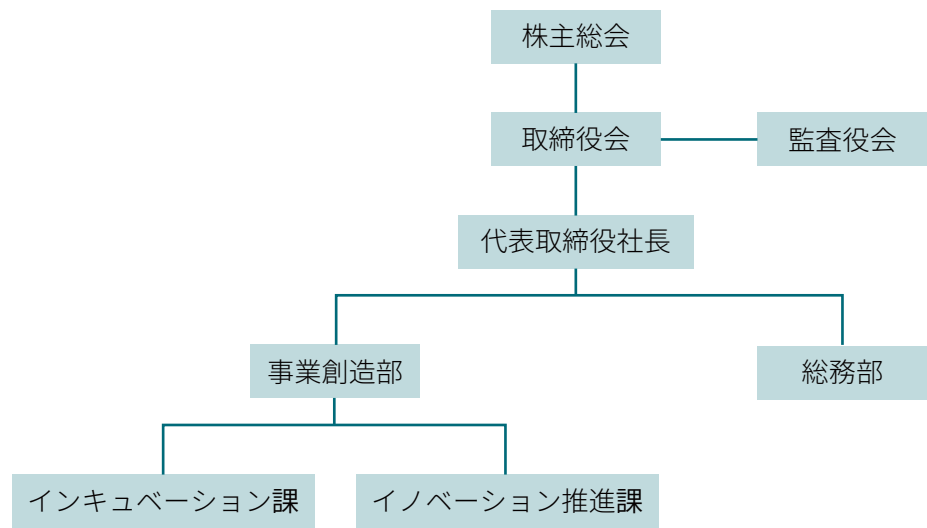


7-5 役員・組織図・株主

役員 (令和7年3月31日時点)

代表取締役	橋元 雅敏	
取締役	安藤 重夫	
	稲垣 英孝	
	杉本 祥一	株式会社ハイスポット 代表取締役
	佐々木 亮一	株式会社ライト 代表取締役
	小林 昌純	株式会社コバヤシ精密工業 代表取締役
	渡邊 将文	株式会社 MEMO テクノス 代表取締役
	吉田 英訓	株式会社ミヨシ・ロジスティックス 代表取締役
	高野 弘明	相模原市 環境経済局 経済担当部長
	渡貫 隆	相模原商工会議所 中小企業振興部長兼産業振興課長
監査役	石川 敏美	
	安田 弘幸	安田弘幸公認会計士事務所 所長
	毛利 則彦	株式会社横浜銀行 理事 相模原駅前支店 支店長
	鈴木 章二	株式会社きらぼし銀行 執行役員 連携推進部 部長

組織図



株主

■株主数

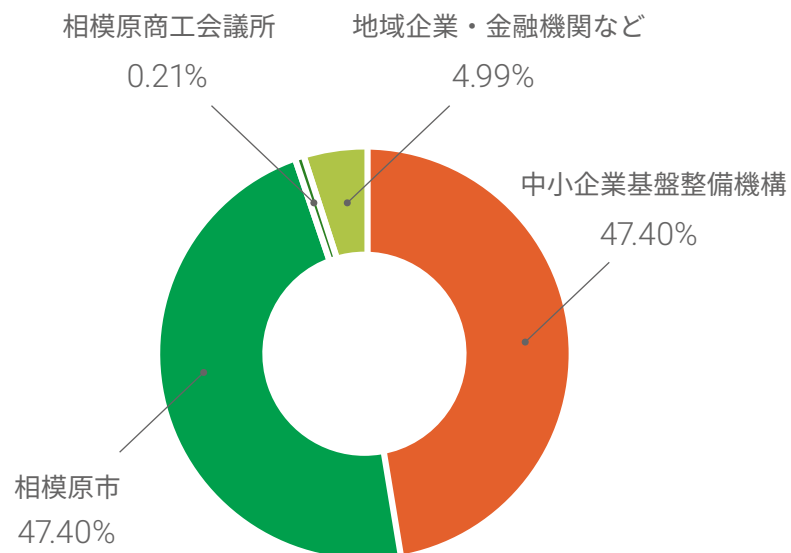
32社(者)

■発行済株式の総数

47,890 株

■資本金

23億 9,450 万円



相模原市	独立行政法人中小企業基盤整備機構
株式会社きらぼし銀行	株式会社ボイス
株式会社ハリマビシステム	古木建設株式会社
株式会社横浜銀行	西武信用金庫
株式会社三菱UFJ銀行	相模原商工会議所
日本テクノ株式会社	城山工業株式会社
株式会社ハイスポット	有限会社早川銘板製作所
三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社	日本電子工業株式会社
相模原市農業協同組合	権田金属工業株式会社
株式会社相模運輸	相模ガス株式会社
株式会社昭和真空	篠崎電業株式会社
タイヨー印刷株式会社	東邦電子株式会社
東京海上日動火災保険株式会社	ブックオフコーポレーション株式会社
アイシンク株式会社	株式会社キャロットシステムズ
Apex 株式会社	



2024 ANNUAL REPORT R.06

株式会社さがみはら産業創造センター (SIC)
令和6（2024）年度 年次報告書

■発行

株式会社さがみはら産業創造センター
〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21
TEL 042-770-9119(代) FAX 042-770-9077
<https://www.sic-sagamihara.jp>

